

MTG5000-S Anniversary Edition

J2534ソフトインストールガイド

▲ ご使用前に必ずお読み下さい。

この度は MTG5000-S-ANVOBDUP 及び MTG5000-S-ANVOBDKIT をご購入いただき誠にありがとうございます。本書を参考にJ2534オプションソフトのダウンロードとインストールを実施して下さい。

1. MTG5000-S-ANVOBDKIT の確認 製品がすべて揃っていることをご確認ください。

- micro USB ケーブル(1本)
- DC INポート保護キャップ(1個)
- USBポート保護キャップ(1個)
- RS232ポート保護キャップ(1個)
- RS232ポート保護キャップ用樹脂製ネジ(2個)
- micro USBポート保護キャップ(1個)

● OBD 検査機器としてご使用いただくには、MTG5000-S-ANVOBDUP と MTG5000-S-ANVOBDKIT の両方が必要です。
● セット内の製品は品質向上のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2. パソコンとの接続とファイルの表示

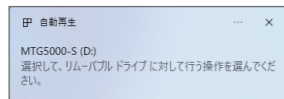
オプションソフトご購入後にアップデートを行い、ソフトをダウンロードする必要があります。

- 付属の micro USB ケーブルを使用して本体のmicro USBポートとパソコンのUSBポートを接続します。本体画面にUSBケーブルのイラストが表示されPC接続モードになります。



● パソコンとの接続は、必ず付属の micro USB ケーブルをご使用ください。

- 本体が「MTG5000-S」の名称でパソコンに認識されます。



- 「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックして本体内のファイルを表示します。

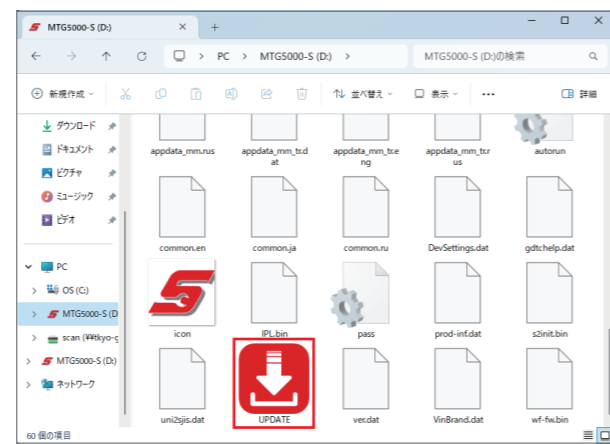


● 自動再生が有効でない場合は、PCの「デバイスとドライブ」から「MTG5000-S」を開いてください。



3. アップデート

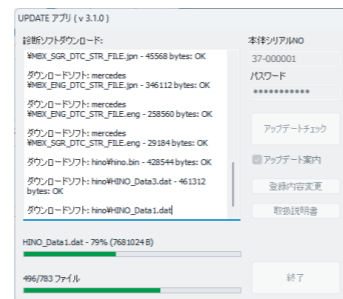
- 表示されたファイル一覧から「UPDATE.exe」ファイル(.exeは拡張子)を開きます。
※UPDATEプログラムはWindows10以降に対応しています。



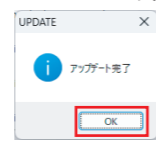
- 「Update アプリ」の [アップデートチェック] をクリックします。



- ダウンロードが始まり、本体内に保存されます。



- アップデートが完了すると「アップデート完了」が表示されます。「OK」をクリックしてアプリケーションを終了してください。



● 「書き込みできません」のエラーが表示された場合は、セキュリティソフトにより外部記憶媒体への書き込みが禁止されていないか確認してください。
● 管理者権限のあるアカウントで実行されているか確認して下さい。

- 以上でアップデートが完了しました。次にOBD検査で使用されるパソコンに「J2534 Utility」をインストールします。「4. J2534 Utility のインストール」に続きます。

！ 注意

セキュリティソフトについて

本体をパソコンに接続した場合、「UPDATE.exe」(アプリケーション)を実行した場合、セキュリティソフトが反応してアプリケーションを削除、または隔離したり、通信をブロックすることがあります。その場合はセキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。

UPDATE.exe (アプリケーション) について

万が一アプリケーションが削除された場合は、下記リンク先よりダウンロードして、本体内に保存してください。

<http://scantool.jp/downloads/update/UPDATE.exe>

アップデート時のエラーについて

「書き込み出来ません」などのエラーが発生してアップデートが正常に行えない場合は、セキュリティソフトの設定を確認していただくとともに本体内部メモリのフォーマットが必要な場合があります。フォーマット前にアップデート期間内であることをご確認ください、以下のファイルをパソコンにコピーして保存してください。

- UPDATE.exe (アプリケーション)
- pass.ini (構成設定ファイル)

保存後フォーマットを行います。フォーマット後保存した2つのファイルを本体内部メモリに戻して再度アップデートを行ってください。

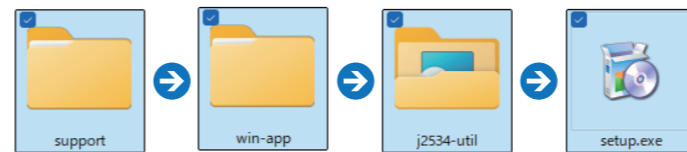
取り外すには

「ハードウェアの安全な取り外し」を実行した後に取り外してください。

4. J2534 Utility のインストール

● 以下の手順はOBD検査でご使用されるパソコンで行います。本書の「2. パソコンとの接続とファイルの表示」を参考に本体とパソコンを接続してください。

- アップデートが正常に完了した本体内には「J2534 Utility」が保存されています。「support」-「win-app」-「j2534 util」フォルダの順に開き、フォルダ内の「setup.exe」をダブルクリックして実行します。

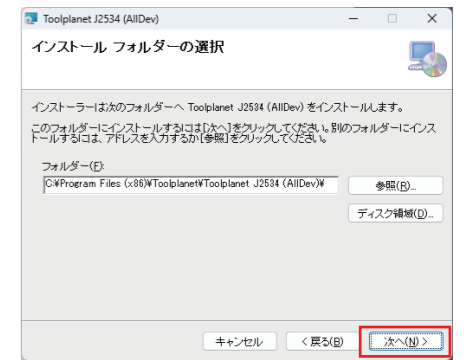


● ファイルを実行する操作については、ご使用のパソコンの設定に従ってください。

- インストーラーが起動します。「次へ」をクリックします。

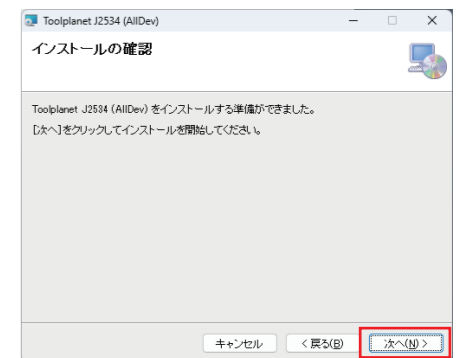


- インストール先を確認するダイアログが表示されます。「次へ」をクリックします。

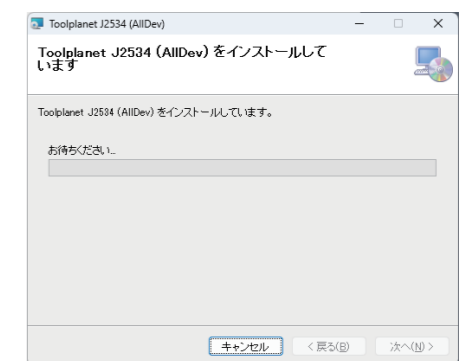


● インストール先を変更する場合は「参照」をクリックして保存先を指定してください。

- 「次へ」をクリックしてインストールを開始します。

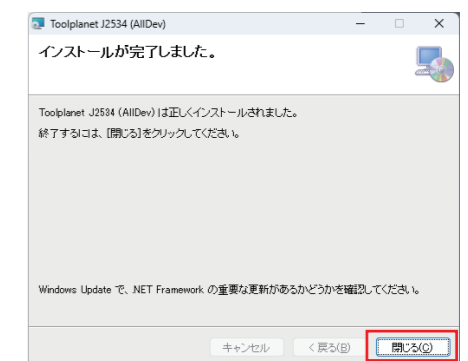


- インストールが始まります。

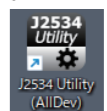


● ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は「はい」をクリックして許可してください。

- インストールが完了しました。「閉じる」をクリックして終了します。



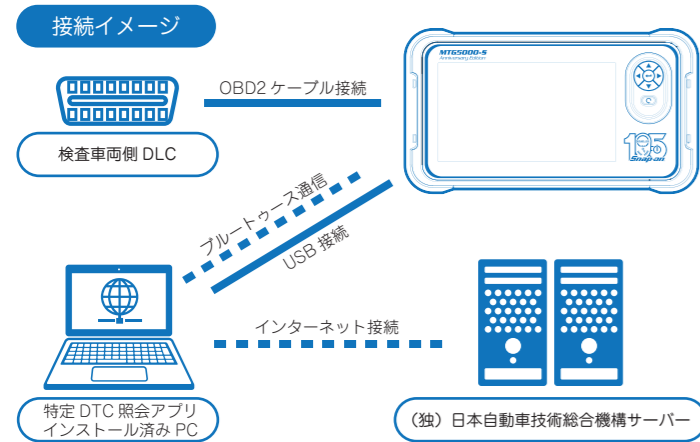
- インストールが完了すると、デスクトップに「J2534 Utility (AllDev)」のショートカットが生成されます。



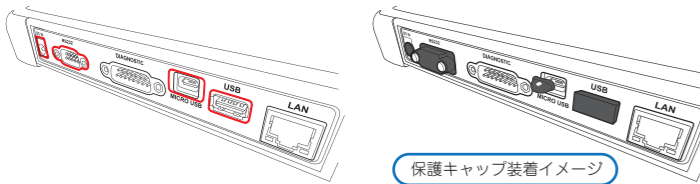
● インストール完了後は「ハードウェアの安全な取り外し」を実行して本体を取り外してください。

5. OBD 検査の接続イメージと保護キャップの装着

OBD検査につきましては、**有線接続(USB接続)**と**無線接続(Bluetooth接続)**の両方に対応しております。お客様のご使用環境に合わせて選択してください。



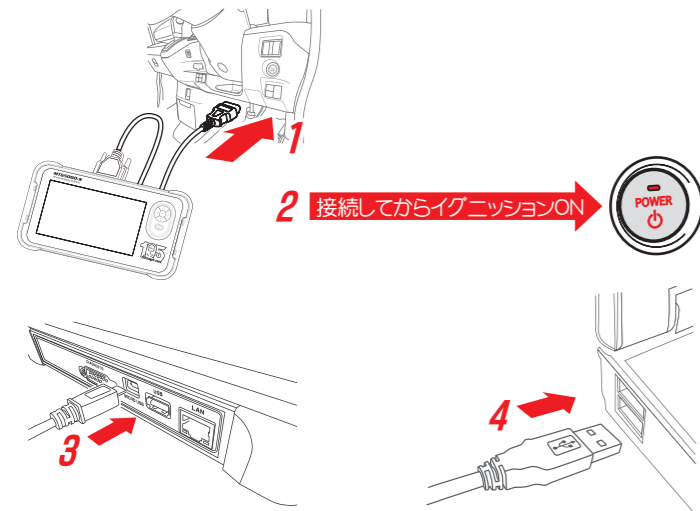
1. 本体上部の「DC IN」「RS232」「MICRO USB」「USB」の使用しない各ポート(赤枠)に付属のキャップを装着してください。



- LAN ポートは保護する必要はありません。
- RS232 ポート保護キャップを装着する際は、付属の保護キャップ用樹脂製ネジ(2個)をご使用ください。強く締め付けないようにご注意ください。

6-A. 有線(USB)で接続する場合

1. 車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション“ON”または必要に応じてエンジンを始動してください。付属の micro USB ケーブルを使用して本体の micro USB ポートと OBD 検査で使用されるパソコンの USB ポートを接続します。



micro USBケーブルは必ず先に本体に接続した後、パソコンに接続してください。順番を誤ると認識しない場合があります。

初回接続時は「デバイスのセットアップ」ダイアログが表示され、セットアップが自動で始まります。セットアップが終了し「デバイスの準備ができました」ダイアログが表示されるまでお待ちください。

6-B. 無線(Bluetooth)通信で接続する場合

1. 車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション“ON”または必要に応じてエンジンを始動してください。



- OBD検査で使用されるパソコンまたはタブレットのBluetoothがONであることを確認してください。【設定】- [Bluetooth] から確認できます。

7. 本体側の設定

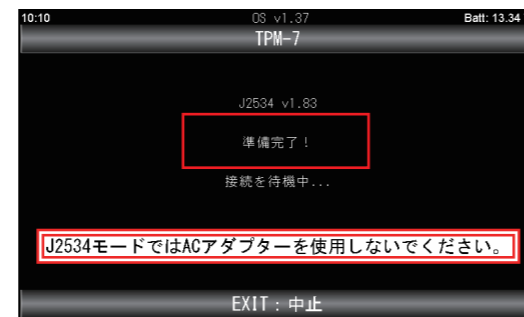
1. 本体が起動してメインメニューが表示されます。メインメニューから「特殊機能」を選択します。



2. 続いて「J2534モード」を選択します。



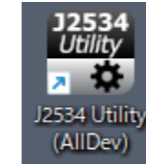
3. 「J2534モード」が起動し、再起動後しばらくすると「準備完了」画面が表示されます。本体はこの状態で待機します。



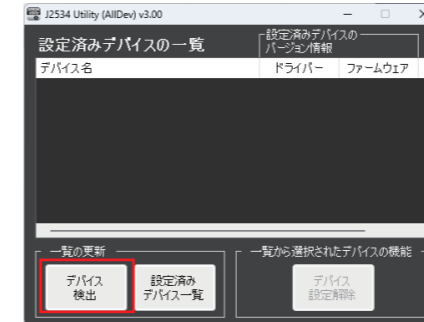
- J2534モードで(検査用スキャンツールとして)使用する場合は、ACアダプターを使用しないでください。正しく検査ができない可能性があります。

8. J2534 Utilityを使用して本体をパソコンに設定

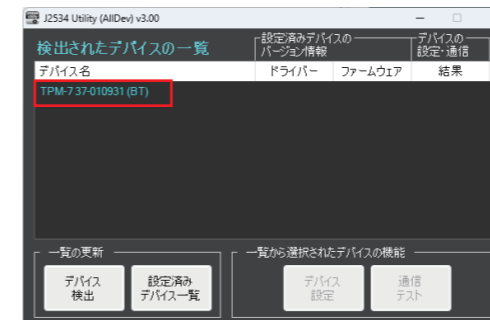
1. インストールした「J2534 Utility」をデスクトップのショートカットから起動します。



2. 「デバイス検出」をクリックして接続されている本体(デバイス)の検出を開始します。

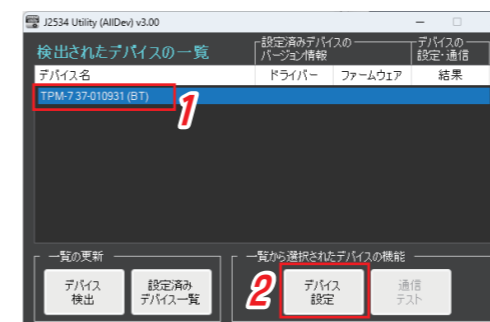


3. 検出されたデバイス一覧に接続した本体が表示されます。



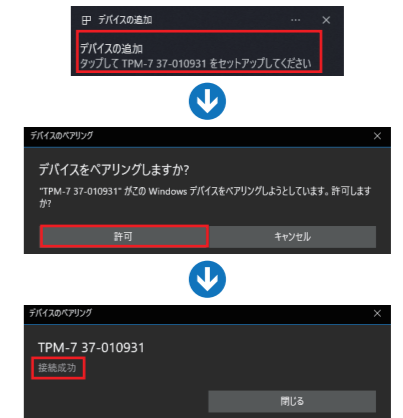
- ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は「はい」をクリックして許可してください。
- 無線通信で接続する場合、周辺に本機以外のBluetooth機器が複数存在すると検出に時間がかかります。

4. 接続した本体のシリアル番号(例: 37-01XXXX)と一覧に表示されたシリアル番号が一致していることを確認して、デバイス名をクリックして選択し「デバイス設定」をクリックします。



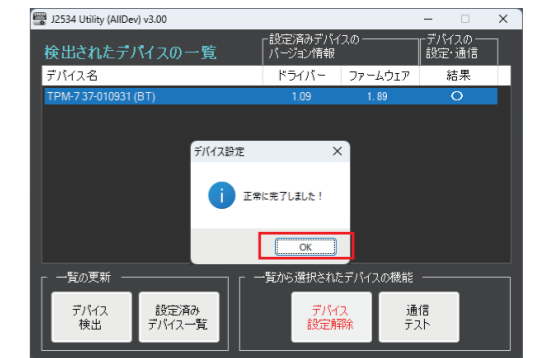
- シリアル番号は本体裏面のシールに記載されています。
- パソコンへの接続方法によって、該当する方を選択してください。
有線接続の場合: TPM-7 37-01XXXX (USB)
無線接続の場合: TPM-7 37-01XXXX (BT) ※BT: Bluetooth

5. 「デバイスの追加」ダイアログが表示されますのでタップします。続いて「デバイスのペアリング」ダイアログが表示されますので「許可」をクリックしてください。「接続成功」が表示されるとペアリング完了です。

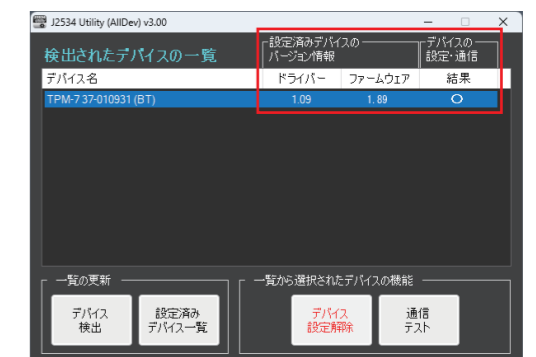


- デバイスのペアリングダイアログと同時に Windows の設定画面が表示された場合は、ペアリング完了後に閉じてください。

6. デバイス設定が完了すると「正常に完了しました!」ダイアログが表示されます。[OK]をクリックしてダイアログを閉じます。



7. 「ドライバー」「ファームウェア」欄にバージョン、「デバイスの設定・通信」欄に「O」が表示されると、デバイスの登録ならびに通信テストは完了です。



8. 以上でセットアップは完了です。[X]をクリックしてアプリを終了します。

特定 DTC 照会アプリを起動して OBD 検査を行ってください。

- 特定 DTC 照会アプリについては「OBD 検査ポータル」サイトをご覧ください。
- セットアップが完了したデバイス名(「TPM-7 シリアル番号(USB または BT)」)が特定 DTC アプリの検査用スキャンツール欄に表示されます。
- 1台のパソコンで複数台セットアップされている場合はプルダウンリストから現在接続されているデバイスを選択してください。

< 販売元 >

スナップオン・ツールズ株式会社
〒136-0062 東京都江東区東雲 1 丁目